



# 東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京コミュニティーセンター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102

## ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

## ワイズの信条

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにY M C Aに尽くそう
1. 世界的視野をもって国際親善を図ろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
1. 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

## ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてY M C Aの活動を支援する
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
5. 健全な交友関係を作り出す
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

## 【2022~2023主題】

### 国際会長 Ulrik Lauridsen (Denmark)

主題：“Let Your Light Shine” 輝かそう、あなたの光を」

スローガン：“Good Communication Is the Cornerstone in Every Cooperation”

「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

### アジア太平洋地域会長 Chen Ming Chen (Taiwan)

主題：“Elegantly Change with New Era” 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

スローガン：“Doing It Right Now” 「今すぐ実行を」

### 東日本区理事 佐藤 重良 (甲府21)

主題：“Let's act now for the future” 「未来に向けて今すぐ行動しよう」

スローガン：“Do something for someone and have an enjoyable club life for yourself!”

「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」

### あずさ部長 後藤 明久 (富士五湖)

部長主題：『ワイズへの参加と交流を楽しもう』

副主題：とにかく参加しよう、リアルとズームで行動し発信しよう

### 東京武蔵野多摩会長 中村 吉孝

会長主題：「未来に向けて、まずは会員増強から」

THE Y'S MEN'S CLUB  
TOKYO  
MUSASHINO TAMA



東京武蔵野多摩  
CHARTERED 1963

2023年  
4月の聖句

神はこのイエスを死の苦しみから解放して、復活させられました。  
イエスが死に支配されたままでおられるなどということは、ありえなかったからです。  
「使徒言行録第2章24節」

## 4月例会の予定

強調月間：W4W、RBM

日時：4月12日(水) 19:00~20:40

会場：西東京センターおよびZoom

〈プログラム〉

司会：宮内 (会場準備：板村、中村)

\* 食事

\* 開会挨拶、点鐘：中村会長

\* 聖句朗読・説明：江夏

\* ゲスト、ビジター、メンバー紹介

\* 卓話 木村 郁氏 (調布市役所：臨床心理士)  
「コロナ禍での子どもの問題など」

\* 連絡、報告、ハッピー・バースデー、ここにこ

\* 閉会挨拶、点鐘：中村会長

## 3月例会報告

出席者	8名
在籍者	9名
メーキャップ	0名
出席率	89%
ゲスト (リーダー)	3名
ビジター	11名
メネット・コメント	0名

\* 4月のハッピー・バースデー  
小林さん (15日)

## ファンド関係

	3月度	累計
ここにこ		
ここにこ	7,000	34,300
2次会にここにこ	0	2,203
メルカリ	270	9,147

## I B C

Tsim Sha Tsui Y's Men's Club (香港)

Seoul Han Yang Club (韓国)

## D B C

神戸学園都市ワイズメンズクラブ



ワイズメンズクラブ紹介ページ



東京武蔵野多摩クラブWEBページ



Facebookページ

## 【2022-23 クラブ役員】

会長 中村 吉孝  
副会長 小林 文彦  
書記 山口 直樹  
会計 宮内 友弥

日々雑感

小林 文彦

これだけ集中して野球を観たのは何十年ぶりだろうか。

小学生の頃の遊びと言えば原っぱや神社の境内での、軟式テニスのゴムボールを手で打つ三角ベースボールの日々。ほぼ全員が野球帽をかぶり、長嶋、王、金田の各選手になりきって両チームは勝つまで終わらない覚悟のエンドレスゲーム、終わりはいつも日没終了で足取り重く、道々言い訳を考えながら家路へつく繰り返しだった。

中学で部活を始めると野球への興味は薄れ、野球中継を見る事もほぼ無くなった。近年は米メジャーリーグの日本人選手の活躍をスポーツニュースでチラ見する位だったが、今回はそのダルビッシュや大谷などが出場するとの事で少し興味をもっていたが、いざ観てみるとスピード感と迫力は想像を超えるものがあり、ついつい引き込まれていった。また、国対抗の試合なので感情移入もし易く、追い込まれてからの反撃逆転は去年のサッカーワールドカップの日本チームを彷彿させるものがあり、「そこだ」「よし!」「いけ!」など声出しのTV観戦で堪能した。

今回の日本チームのヌートバーのように、その国にルーツを持つ選手が各国にも散見され、スポーツにおいては個々の持つ能力が優先されて、バックグラウンドによる差別偏見などは徐々に解消される傾向にあるのかな、などと昨今いわれる多様性への歩みも感じた。また、街頭インタビューでは若者達の「夢を持ち続ける事の大切さ」「諦めない気持ちが結果を出す」などと観戦を通じての感想が多く聞かれ『親ガチャ』など、現状に甘んじてしまう風潮に一石を投じる事になるのかも興味深いところだ。

野球に気をとられているうちに、令和5年の予算が成立した。過去最高額の114兆3千億超とか。社会保障費関連が1/3を占めるのは少子高齢化の時代にあっては致し方ないと思うが、予算の使われ方が簡単に検証できるような仕組みも作ってほしいところだ。歳入も4割が国債やその他が占め依然の借金体質で、積みあがった借金返済どうやって返していくのか。10年後、20年後を考えると未恐ろしいが、その頃には自分も決めた当人達も誰も生存していないという「あとはよろしく」の先送り。これでいいのかなあ。

\* 4月例会卓話者紹介

- 【所属】 調布市教育相談所 心理相談員  
東葛看護専門学校 非常勤講師 (心理学)  
その他、スクールカウンセラー、国家試験 (キャリアコンサルタント) の面接試験委員など
- 【略歴】 中央大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程を単位取得退学  
大学院時代の研究テーマは、「若者の自殺について」と「ピアカウンセリング養成プログラムの成長促進効果について」。  
研究から臨床現場を中心にした活動の場を移し、現在に至る。  
学部生時には中学校や発達障害児のグループなどで、ボランティア活動にも参加  
また、大学院に所属していた頃から現在まで、大学の附属高校において高校生を対象としたピアカウンセラーを養成するための講座をお手伝いしています。

今月および今後の行事予定

4月12日 (水) 19:00~	4月例会 調布市役所 木村氏	5月24日 (水) 19:00~	5月第2例会 (Zoom開催)
4月26日 (水) 19:00~	4月第2例会 (Zoom開催)	6月3-4日	東日本区大会 (甲府)
5月 日時未定	DBC合同例会 (Zoom開催)	6月14日 (水) 19:00~	クラブ総会
5月13日 (土)	第3回評議会 (松本)	6月28日 (水) 19:00~	6月第2例会 (Zoom開催)

3月例会報告

山口直樹

3月例会報告

山口直樹

3月8日(水)19:00~20:30

出席者 中村、伊佐(オンライン)、板村、小林(オンライン)、宮内、山口、渡辺(オンライン)、出沼、麻生、大輪、野尻

ゲスト;山田公平次期理事(スピーカー・宇都宮)、  
ビジター(オンライン):板垣(鎌倉)、榎本(伊東)、小原(タンポポ)、久保田(八王子)、栗本(熱海)、駒田(甲府21)、重堂(十勝)、辻(横浜つづき)、山下(十勝)、山本(八王子)

本日の卓話は、山田公平次期理事。直前の土日に東山荘で行われた会長次期部役員ワークショップ引き続きのスピーチで感謝。多忙の中で、準備もしっかりとさせていただき感謝です。

次期理事主題は「未来のために今、学びと気づきを、自信と喜びを感じる機会を」

本日のスピーチの題は「こんなことできないか?この2年で」一クラブが何をすべきかとのヒントがたくさんある示唆に富んだスピーチであった。

まず、山田さんがかかわられている自治会の話。ワイズと同じように高齢化や組織の硬直化などで衰退してきているが、ランチ提供プログラムを始めたところ、大勢の参加者また、手伝うボランティアの増加などが見られている。住みやすい地域をどう作るかを課題として皆が関心を持って行動を始めていることを聞いた。ワイズも全く同じ状況との感じ。

次にこれからのワイズ運動の在り方では、国際協会が「Vision2032」ではYMCAとミッションパートナー(お手伝いではなく共に動く団体)になることが示されている。

そのこととして昨年実施された「SDGsの地域モデル事業」としてのユースアクションの一部の紹介があった。

・山梨Yのユースはごみ拾いを「ただいま清走中(清

掃)」というゲームにした。市にも注目され、助成金をもらえた。

- ・養蜂活動を通して自然環境を学ぶプログラムの滋賀Y。ワイズメンバーの協力もあり実施。
- ・農業支援を小学生にも呼びかけた富士宮高校(静岡)
- ・子ども食堂を実施したとちぎY高校生グループ。地元メディアにも取り上げられた。
- ・不登校支援を行った熊本Yリーダー会。地元メディアで紹介された。

メディアに取り上げられたり、つながりが広がったり、今後に向けてクラウドファンディングに挑戦したりと変化しながら活動が広がっている実態を聞かせてもらえた。

若者たちが考え、計画し、実行し、効果が見え、感じ、自信につながっているとのこと。

2024年春から第2弾を行う予定。

今回のユースアクションを通じ、ワイズ・YMCA・ユースがつながり、地域で注目され支えることも起こった。

混沌とした社会において国際に目を向け活動していく若者が真に求められており、その若者に投資するワイズになくなって行くこと。また、ワイズ・YMCAが持っている国際的なつながりを生かしていくも求められている。ワイズがこれからの社会に必要なものを提供しようとしているかが問われている。

最後に具体的な方向も示していただいた。

- ・あずさ部では既存クラブの充実のための工夫
- ・東日本区では事業委員会の充実と取組の継続
- ・武蔵野多摩クラブでは、クラブライフの意味や楽しさを強める工夫

が求められている。キーワードは、ウェルビーイング。

最後に、次期の体制の紹介なども説明された。

山田さんが2期続けて理事を行うことなど意気込みを感じ、多くの刺激を受けることができたスピーチであった。

今回は、直前に山下LT委員長からも呼びかけていただき、多くの方のオンライン参加があったこともうれしいことであった。感謝である。

<東京YMCA便り>

出沼 一弥

▼3月11日「第24回libyチャリティーコンサート」

在日本韓国YMCAスペースYにて開催され83名が来場。三菱商事コーラス同好会による合唱、越智光輝氏(クラリネット)、門倉美香氏(ピアノ)、田口裕氏(チェロ)による室内楽の演奏が行われた。益金とご寄付を合わせた788,100円は新しいオープンスペースlibyの活動のために用いられる。

▼「東京YMCAウエルネスガーデン品川御殿山」オープン

2023年4月から品川区北品川(御殿山トラストタワー内)に新規オープン。開設準備やメンバー募集も順調に進み、4月からは幼児から高校生を対象とした水泳クラスが始動する。

▼今後の予定

○5月14~19日「YMCA世界大都市会議(YWUN)」

米国ブルーリッジ・アッセンブリーYMCA

○5月27日「第20回会員大会」

会場:山手センター